

## 令和7年度 第3回 伊勢市観光振興基本計画推進委員会議事録要旨

日時：令和7年11月25日（火）14：00～16：00

場所：伊勢市役所 東館5階 5-3会議室

出席者：【委員】板井、澤村、久村、大西、谷、藤原、今北、山本、岡田、五十子、前田、高橋 〈敬称略〉

【事務局】（伊勢市）小林、東、中村、山口、西尾、高橋  
（委託業者：JTB）小島、吉口、藤田、熊澤、古館

### 1. 挨拶(委員長)

令和7年度第3回伊勢市観光振興基本計画の推進委員会を開催する。

### 2. 委員・事務局紹介、出席者報告

委員17名のうち出席者12名となり、過半数が出席していることから、「伊勢市観光振興基本計画推進委員会規則」第4条第2項の規定により、本委員会が有効に成立していることを確認。

### 3. 議事

（1）市内観光事業者および神社仏閣向けアンケート調査、周辺観光関連団体向けアンケート調査、観光市民アンケート調査・事業提案アンケートの結果資料①②③  
資料①,②,③に基づき、概要を事務局（JTB）より説明。

<質疑>

○全体的にバリアフリーに関する意見が少ないが、各アンケートに障がい者の回答者は何名含まれているか。（委員）

⇒資料①②は事業者・組織向けアンケートであり、障がい者の意見は含まれていない。（JTB）

⇒観光市民アンケートや事業提案アンケートは匿名募集のため、バリアフリー対象者の意見を特定して収集したものではない。（伊勢市）

（2）伊勢市観光振興計画（案）、KGI・KPIの考え方について、委員等からの意見への対応状況資料④⑤

資料④,⑤に基づき、概要を事務局（JTB）より説明。

<質疑>

○資料④40 ページ基本方針⑦に差し込むインバウンド指標を 10%程度にすべきという意見について

⇒令和 7 年の訪日外国人観光客数は令和 6 年と同水準と推移しており、3 %増と推計している。(JTB)

⇒令和 8 年・9 年にお木曳行事が開催されるため、令和 8 年から令和 9 年にかけては 10%増の設定を検討している。(伊勢市)

⇒東北および九州方面からのワンマンバス運行が不可能となったため、前回遷宮時に見られた国内団体夜行バスによる送客は今後見込めない状況である。この国内団体客の減少を補うためインバウンド誘客の強化は必要である。しかしながら、これまでのインバウンド対策が不十分であったため、実際の誘客効果について不透明な状況である。鳥羽志摩地域の旅館ではインバウンド団体客が来ているが、伊勢市（事務局）からのインバウンド誘客に関する具体的な施策、補助金、支援は検討されているか。(委員)

⇒今年度より観光誘客課内にインバウンド誘客部署を新設し、データ分析や施策展開を検討している段階である。(伊勢市)

⇒全国平均並みのインバウンド誘客を目指す 10%という目標は、達成は困難であるものの、全国水準に追いつくという意味で妥当である。(委員)

⇒外国人利用の実績はあるが、目標値 10%は現状から見て非常に大きな数字である。具体的な施策が伴わない限り、10%の数値設定は現実と乖離するのではないか。(委員)

⇒10%という目標設定の根拠、遷宮が外国人誘客に与える影響について、伊勢市（事務局）はどのように考えているか。計画案からはその詳細が不明瞭である。(委員)

⇒資料④41 ページの具体的方針に基づき、重点市場の設定と提供サービスの明確化、ニーズに応じた伊勢ならではの施策の実施、観光事業者・団体との連携推進、および宿泊増加のためのナイトタイムコンテンツの充実化、繁忙期の平準化を図る施策を展開していく。(伊勢市)

⇒インバウンド誘客施策の実施にあたり、伊勢市内におけるインバウンド客の移動経路・宿泊地の人流データと国内観光客との動向の違いを洗い出す必要がある。今後も人流データの検証を継続することは可能か。(委員)

⇒観光客実態調査および観光統計は今後も継続して実施したいと考えている。必要なデータや項目があればご意見いただきたい。(伊勢市)

⇒市内における観光客の具体的な移動経路や来訪元の町名など、より詳細な人流データの提供を希望する。(委員)

⇒外国人推計宿泊者数 38,000 人と目標割合 10%のどちらの数値を提示すべきか。(委員長)

⇒38,000 人の記載で検討している。(伊勢市)

⇒計画には 38,000 人として記載し、パブリックコメントの反応を踏まえて議論の機会を設ける。(委員長)

○前回遷宮時と比較した、計画案における予測旅行客数・観光消費額の数値設定に関する意見について

⇒予測数値の検討にあたっては、伊勢の観光客数増加傾向やトレンドを考慮する必要がある。(委員)

⇒伊勢市観光協会のホームページアクセス数は資料の数値の通りか。(委員長)

⇒おおむねその通り。(委員)

⇒資料の実数に基づき、パブリックコメントの反応を確認する。(委員長)

○議題に上がった論点の総括

委員は、本計画案を認め推進することに合意。

今回の議論を反映させた基本計画案を作成し、パブリックコメントを実施する。

#### 4. その他

○伊勢市における観光地経営戦略プランについて

概要を委員より説明。

⇒インバウンドに関する意見はあるか。(委員長)

⇒インバウンド戦略は難航しており、伊勢市観光振興基本計画策定後に反映する方針である。今年度より三重県観光連盟と連携し、外国人観光客向けのアンケートを実施しており、人流データの獲得を期待している。(委員)

○外宮で調査を実施し、外宮参拝客は外宮駐車場利用が多く、まち中心部への立ち寄りが少ないことが判明した。一方、外宮の認知度は予想より低くなかった。(委員)

○計画案は優れているものの、具体的なアクションプランの実施が重要である。伊勢の空間快適性の低さの見直しを行い、伊勢らしくあるための計画を実施することがインバウンド誘客に繋がるのではないか。関係人口について、伊勢に古くから存在した「御師」の仕組みを再評価し、現代に活かすことで新たな展開が期待できるのではないか。(委員)

#### 5. 閉会

- 12月中旬から1月のパブリックコメントを実施前に委員に KGI・KPI を反映させた計画案を送付。
- 第4回推進委員会は1月22日（木）午後に実施予定。

（以上）